



Reader以上の機能を満載した Acrobat®

Adobe® Acrobat 4.0ソフトウェアでPDFファイルを作成、拡張
次のようなことは、よくありませんか？

重要な書類を仕上げ、電子メールに添付して支店に送ったのに、受け取った返事は「ファイルが開けない」。そこでは別のプラットフォームを使っていたようです。ファイルを開けるアプリケーションがインストールされていなかったのかもしれない。

また、パンフレットや広告をデザインして、顧客に校正用を送ったけれど、顧客がそのファイルを開いてみると、テキストや表は歪んでいて、なぜかロゴは消失。しかも、せっかくデザインに合わせて選んだフォントは、顧客のコンピュータで平凡なcourierに置き換えられている。こんな場合、時間をかけて紙に印刷して届けたら、読みづらいコメントが走り書きされ、メモが貼り付けられ、いろいろな紙がホチキスで止められたものが顧客から戻ってきたということにもなりかねません。

思い当たることはありませんか？

それならデスクトップにAdobe Acrobat 4.0ソフトウェアを置いてみませんか？

Adobe Acrobat 4.0は、汎用文書の交換に欠かせないツールです。

Acrobatを使うと、どんなアプリケーションで作成された文書でもAdobe Portable Document Format (PDF)に変換することができます。PDF形式では、元の文書のフォント、色、画像、および書式がそのまま維持され、文書の体裁が変わることはありません。

PDFファイルは、印刷したり、電子メールに添付したり、ネットワークサーバーやWebサイトに送ったりして、どこにでも配布できます。PDFファイルのサイズは小さいので、ネットワークを経由して送信するのにも適しています。無料で入手できるAcrobat Readerがあれば、誰でも、どのコンピュータからでも、PDFファイルを表示したり印刷したりできることはもうご存じですね。

Acrobat Readerがあるから、Acrobatも持っている...ということにはなりません。

Acrobat Readerで、PDFファイルを表示、検索、印刷することはできます。しかし、Adobe Acrobat 4.0ソフトウェアは、情報の共有、校正、および配布用の完全なソリューションです。Acrobatを使うと、PDFは毎日の仕事になくてはならないものになります。Acrobatの機能のいくつかを挙げてみましょう。

- PDFファイルをすばやく作成できます。
- Acrobat 4.0をMicrosoft® OfficeやLotus® Notesなど、使いなれたビジネスアプリケーションと一緒にデスクトップで簡単に使うことができます。さまざまなプログラムから、メモ、スプレッドシート、プレゼンテーション、グラフィックなどを集め、配布用のPDFファイル1つにまとめることができます。
- 印刷された書類をスキャンしてPDFファイルに変換しておくと、重要な書類をすべて、1つの汎用性のあるファイル形式にまとめておくことができます。
- 文書の校正もいたってスムーズです。Acrobat 4.0には、注釈、スタンプ、鉛筆ツール、下線、および強調表示など、PDFに直接マークアップするための強力で使いやすい機能が搭載されています。紙を使う必要はありません。

さらに詳しい情報については...

www.adobe.co.jp/product/acrobat/ をご覧ください。Acrobatを使って、簡単に確実、かつ無駄なく通信するいろいろな方法が紹介されています。

Adobe Acrobatソフトウェアには、ただファイルを表示するだけでなく、もっと多彩な機能が搭載されていることをご確認ください。

Adobe Acrobatの購入については

www.adobe.co.jp/product/acrobat/ をご覧ください。



Adobe、Adobe社のロゴ、Acrobat、およびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。Microsoftは、Microsoft Corporationの米国および各国での登録商標または商標です。その他の商標はすべて、各社が所有しています。

© 1998 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.